

全世帯新聞第9号

2019年2月発行

愛知学童保育連絡協議会(名古屋市熱田区沢下町9-7-308)
TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324

e-mail: aichigakudou@gakudou.biz URL: <http://gakudou.me/aichikenrenkyou/>

【ご挨拶】



(県連協会長 江坂)

愛知学童保育連絡協議会(以下、県連協)は、
2019年に50周年を迎えます。

年も明け、早や1ヶ月が過ぎました。会員のみならず、いつも仕事に子育て、学童保育の運営や運動参加、ご苦労様です！

ご承知の通り、12月25日政府は「放課後児童クラブの従うべき基準を参酌化する」と閣議決定しました。

『「放課後児童支援員(資格者)」を含む複数配置』を市町村の条例で必ず定めるとしてきたところを、市町村の実情によっては条例から無くしたり変更したりしてもいいですよ、となったわけです。

私たちが、誰よりも学童保育の「保育」の大切さを知っています。子どもの命と安定した生活を守るために、指導員が働き続けることのできる職場を守るために、「基準の参酌化に反対」「基準を守ろう」を合言葉

基準参酌化に反対

一番困るのは子どもと指導員です。急な病気、事故、怪我などのトラブルがあった時、子どもの命を守るのか。大事は起こらなくても、常に一人ひとりに目配りし、子どもの声を聴こうとする時、「ワンオペ」保育がどれだけ余裕がなく、適切な対応をしづらいか。そのことが子どもをどれだけ不安にさせるか。一人の指導員に責任のしかり、そのことが指導員をどれだけ疲弊させていくか。想像するだけで辛く、政府には憤りを感じます。学童保育所を増やすことには熱心でも、質の担保は簡単に投げ出すのですから。

国会請願署名

目標100万人

にはつきりと意思表示をしていきましよう。1月から始まる通常国会で、基準を参酌化する児童福祉法の改定案が4月頃に上程される予定です。ここにまず反対の声を上げて、世論をつくっていきましよう。

全国連協に加盟する41都道府県連協と地域のネットワークで、20年前の学童保育の制度化以来となる100万人目標の国会請願署名に取り組んでいます。愛知でも既にスタートしました。多くの人に学童保育の大切さ、指導員の専門性、複数の職員配置の必要性を知らせていきましよう。

学童保育運営にとっては、補助金の増減も気になるところです。資格者を複数配置すること、指導員が継続して働き専門性を高めることを前提に増えてきた補助金も、基準の参酌如何で段階的に下がる可能性があります。

CONTENTS

p.2~3 研究集会特集

- ・あらためて「学童期」の豊かさとは何かを考える
- ・50周年に向けて

p.4 地域連協紹介

- ・安城市連協

ます。国に反対の声を上げると共に、市町村には、従うべき基準が参酌化されても基準を守っていかう！という働きかけを今から始めていきましよう。

県連協では最新の情報を提供し、学習の機会も持っています。地域連協、学童保育所で学習会を計画しましょう！県連協に講師依頼は大歓迎です。2019年もみんなの力を結集し、学童保育を守り発展させていきましよう！

よろしく願います。

あらためて「学童期」の 豊かさとは何かを考える

(教授 吉葉研司さん)

名古屋学芸大学ヒューマンケア学部
子どもケア学科幼児保育専攻

◎数年前になります
が、

小学校時代のクラス仲間との同窓会がありました。40年以上も前の小学生達は、みんなおじさん、おばさんになっていました。それでも、思い出話は絶え間なく続きます。私は下校途中に親友と神社の塀に落書きをし、

特集

翌日、先生に怒られ、1時間目の時間中、落書きを消したことを思い出しました。そりゃ、ばれますよね。落書きには「吉葉の母さんデベソ」等とお互いの親の悪口を交互に書き続けたのですから。私たちは時間を忘れて共有したのです、あの少年・少女時代の輝きを。

◎不思議なことに気づきました、

小学校時代の思い出話には、「勉強」や「学力」の話がないのです。私たちの大切な思い出は、当時、おとなから「無駄」といわれた「遊び」との中に詰まっています。



(吉葉研司さん)

い出があるのだろうか、と。現代社会は、急激に変化し、私たちの暮らしにも大きな変容をもたらしています。そして、この変化の影響を受けるのは子どもも例外ではありません。

◎それは、20年ほど前から

「子ども期の喪失(あるいは剥奪)」と呼ばれている状況なのです。沖繩での大学の授業で「泥団子づくり」をしたとき、「初めて泥に触って遊んだ・・・」とつぶやく学生がいたり、「あぶくたつた」を知らない若い保育士がいるように、「遊び」という営みが子どもたちの生活から消滅し、子どもたちはおとなになる、このことが今や日常となりつつあります。遊び不在の子ども期、というのには、実は、人類史上初めてだと指摘する研究者もいます。とくに、学童期はこのような傾向が顕著です。

今、子ども期の育ちにおいて、「非認知能力」が注目されています。これまでの受験学力だけでは将来必要となる生きるための能力が育たない、これからは「非認知能力」を育てていくことにも目を向けなければならぬ、ということが、「遊ぶ」ということが注目されつつあります。

◎学童保育は、

子どもたちの放課後の生活の質、という視点を大事にしてきました。そして、「遊び」は、学童保育の歴史の中で、外すことができない大切な屋台骨です。その屋台骨の大切さを、子ども期が奪われている、という、子どもたちの現状と重ねて考えたい。みなさんの中であつた豊かな子ども時代を子どもたちに手渡すことができるのか、立ち止まって考えてみるときがきています。

「もう一步先へみんなでお考えよう 未来の学童保育のカタチ」



年度末の大きなイベントといえば、こちら。

恒例のあいち学童保育研究集会がいよいよ3月3日9時45分～
日本福祉大学美浜キャンパスにて開催されます。

9月から実行委員会を立ち上げ、記念講演や23分科会
(子ども会議含む)、役割分担の数々を決めてきました。
*なお、会場の関係もあり、今年度は記念講演を3つ行います。

ポスター・チケット・チラシを送りましたので、急ぎ活用してくださいね。

研究集会には、みんなが知りたいことや学びたいこと、
話し合いたいことがいっぱい！

ぜひ記念講演・分科会と盛り沢山な1日を楽しんでください。

記念講演を引き受けてくださる方の1人、吉葉研司さんが、
いろんな思いを語っていただきました。

研究 集会



カウントダウン傑作選

当日までの日数を楽しい画像で、カウントダウンしています！
他のカウントダウンはこちら↓

<http://gakudouhoiku.net/countdown>



50周年に向けて

愛知学童保育連絡協議会
(以下、県連協)は2019年
に50周年を迎えます。

1969年に県内5つの学童
保育所の指導員や保護者な
どが集まり、県連協結成に向
けて動き出しました。第1回
あいち学童保育研究集会を
機に県連協結成総会が開か
れて、翌年には早くも、第5
回全国学童保育研究集会が、
初めて東京以外の地、名古屋
で開催されました。県議会・
県行政への働きかけや、研修・
研究集会、県内地域の学童保
育所や組織を支え合うなど
多様な活動を積み重ね、つい
に半世紀が過ぎました。

10年前の40周年記念誌
に江坂県連協会長が記した
「もつと働きやすく、もつと子
育てしやすく、もつと生きや
すい社会の一端を担う学童保
育の制度化、指導員の公的資

格制度の確立を実現させて、
次の世代に渡したい」、この思
いは今も変わりません。豊か
な子ども時代、豊かな子育て
を皆が実感できるように、み
なさんとながりにながら、さ
らにパワーアップさせたいと考
えます。

県連協は50周年を記念し
て、記念誌の発行とレセプショ
ンを企画しています。愛知県
連協らしく元気が出る内容に
したいと役員一同張り切っ
ています。地域のみなさんの出
番もありますので、持ち味を
活かした楽しい企画を考えて
ください！

みんな集まろう！

愛知県連協 50周年記念
総会&記念パーティー
2019年5月26日(日)
ムーガーデンテラス
(名城大学ナゴヤドーム
前北キャンパス1階)

【うちの自慢の指導員】

各地域で頑張っている保護者や指導員を紹介するコーナーです。第二回目は、2019年度「みんなで話そう学童保育ひろば」が開催される安城市からお送りします。



(右端が山本指導員)

音楽の好きな山本さんは、安城市のひまわりクラブの指導員さん。いつも楽しく元気に勤めています。

「指導員になって良かった！楽しい！と思えるのはどんな時？」

保護者の方と一緒に子どもたちのことを話したり、相談しあったりするとき、子どもたちの成長過程の一部分に関われているんだなあ、と思えることが指導員になって良かったと思える瞬間です。

楽しいと思えるのは、も

これだれの!?



♡チャコ作♡

「指導員の仕事、難しいと思うことは？」

1年生から6年生までいると、目的が同じでも出来ることと出来ないことが違うので、それぞれにできることを考え伝えることが難しいところかな？と思います。子どもがやりたい！と



(キャンプの様子)

「これからのひまわりクラブの夢は？やってみたいことは？」

「夢は、建物を新しくして...」

「もうこと！(笑) お庭ができたなら、みんなで花火とか、全力で水遊びとかしたいです。やってみたいことは、父母の方も参加できるキャンプがあるので、子どもと指導員だけのキャンプに行ってみたいです！」

♪ 編集後記 ♪
先日、熱田神宮へ初詣に行き、おみくじを引いてきました。なんと『大吉』でした。実は昨年もなんです。皆様にも幸せが訪れますように。